

関西学院大学経営戦略研究科

ファイナンス連続セミナー

リーマン・ショックの余熱が冷めかけたころ、企業経営の世界に、ギリシャ破綻、東日本大震災、超円高、タイ洪水と危機が次々と押し寄せています。価値評価の学問であるファイナンスは嵐の航海における羅針盤のようなものです。本年はビジネススクールの3教員による講演をお贈りします。そこから不確実性に満ちた経営環境を乗り切る手立てを発見してください。

11/29 (火) 19:00~20:30 「行動ファイナンスとコンピューターサイエンス

講師 岡田克彦教授

新時代のファイナンス研究とその応用」



行動ファイナンスでは、人間の合理性に依拠した従来ファイナンスモデルの限界を指摘しますが、代替モデルを提案するところまでには至っていません。ただ、ファイナンス研究の最前線では、人間の心理が資産価格にどう影響を与えているかについて、コンピューターサイエンスの技術を使って取り組みが始まっています。驚くべきことに、欧米の先端的ヘッジファンドでは、早速その取組みを資産運用に活かしています。自身の研究と、最先端の海外の研究を踏まえて、その面白さと将来性について紹介します。

12/ 6 (火) 19:00~20:30 「情報の価値から戦略立案へ」

講師 甲斐良隆教授



企業は調査やマーケティングに膨大なコストをかけて情報を収集しています。まさに情報は「ひと・もの・かね」に次ぐ資源として経営の根幹をなすものです。一方、広告宣伝や資格取得は自らの情報を発信する手段であり、現代の情報戦略の重要性は増すばかりです。本セミナーでは、情報戦略を情報の価値という切り口から考えてみることにします。

12/13 (火) 19:00~20:30 「日本企業のリスクファイナンスとキャプティブ経営」

講師 前田祐治准教授



トヨタ、デンソー、日産自動車など多くの日本企業は「キャプティブ」を使ってリスクに対応した財務政策を行っています。本セミナーでは日本企業のキャプティブの仕組みと、設立と運営について基本的な概念と企業にとっての課題点を解説します

◆会場◆

関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1004 教室 (10 階)
(大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー10 階・14 階)

◆申し込み方法◆

参加費無料・事前申し込み制
経営戦略研究科HP イベント欄よりお申し込みください。

(<http://www.kwansei-ac.jp/iba/>)

◆問い合わせ先◆

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科
tel : 0798-54-6572

